学校だより　令和８年１０月

戸山

新宿区立戸山小学校

地域教材を活用し、地域の皆様とかかわりながら

副校長　諏訪部 浩志

本校の教育活動は、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様に支えられて充実した教育活動となっています。子どもたちの健やかな成長を願い、日頃よりご協力いただいていることに深く感謝申し上げます。

子どもたちと一緒に校外に出て、「公園を散策し、自然にふれ、季節を味わう」、「商店街や施設を訪ね、学習内容の理解を深める」、「関係機関を見学し、専門知識を得る」などの活動を毎年計画し、各学年の学習が充実したものになるよう工夫し、実践しています。

学校では、定例の地域協働学校運営協議会で教育活動の充実について意見交流をしています。協議会の中に学校支援部という組織を位置付け、学習活動の補助をお願いしています。本校スクールコーディネーターである乗松好美さんには学校と地域、関連施設とをつなげるパイプ役としてご尽力いただいています。学校運営協議会の議事録については、学校ホームページにアップしていますので、お時間のある時にご覧いただければ幸いです。

では、以下に今年度、地域の皆様と協働し、充実した学習となった事例をいくつか紹介します。

＜２年生＞１学期に生活科で町たんけんをしました。自分たちが住んでいる町、大久保の様子を見て回りました。緑豊かであることや明治通り沿いには飲食店が多くあることに気付きました。また、消防署の出張所の前も歩き、中の様子を見ることもできました。この活動にはスクールコーディネーター乗松さんのお声掛けで民生児童委員の方々に引率のお手伝いをしていただきました。

今後は、図書館見学や商店街見学を予定しています。地元のオレンジコート商店街を訪問して、お店の方々からお話をうかがう計画を立てています。グループに分かれての活動を予定していますので、保護者の皆様に引率補助のお願いをさせていただく予定です。

＜３年生＞総合的な学習の時間で「地域安全マップ作り」に取り組みました。学区域を歩き、交通安全や生活安全の面から身の回りに危険が潜んでいないか等を見て回りました。「建物の陰になっていて見通しが悪い」、「車の行き来が多く危ない」など、子どもの目線で危険に気付き、安全マップにまとめていきました。町歩きの際にも地域の方々に引率補助をお願いしました。子どもたちの安全を見守り、時に適切な助言をいただきました。有難うございました。

完成した「安全マップ」を掲示しますので、ご来校の際には是非ご覧ください。

まなびの教室より

まなびの教室担当

戸山小学校の１階、昔の幼稚園園舎にある教室が「まなびの教室」です。

苦手なことは誰にでもあり、一人一人みんな違います。例えば、作文が苦手、発表するのが苦手、楽器を演奏するのが苦手、計算が苦手、絵を描くのが苦手、言われたことを覚えておくことが苦手、友達とうまく付き合うのが苦手・・・。苦手なことは大人にも、子どもにも、誰にでもあります。でも、苦手なことも、できるようになるための方法や学び方を工夫すると、少しずつできるようになります。

まなびの教室は、こういうことができるようになったら、クラスでもっと安心して学習することができるのになあということを、自分に合った学び方で学習して、少しずつできるようにするための教室です。何年生からでも利用でき、自分が目標にしていることができるようになったら、通うことを終了することもできます。

まなびの教室で学ぶ時間は、クラスの授業と異なる場所で学習することになりますが、どの子も自分の得意や好きを生かして学習に取り組んでいます。

クラブ活動について

特別活動部　クラブ担当

「クラブ活動」では、４年生以上の子どもたちが学年や学級の所属を離れ、同好の子どもたちで集い、交流を深め、共通の趣味・関心を追求する活動を行っています。毎年、３学期に子どもたちから意見や希望を取り、クラブの種類や所属を決めています。今年度は新たにパソコンクラブと室内運動クラブが誕生しました。全部で 10 個のクラブに分かれ、年間 12 回の活動を進めています。計画や運営の主体は子どもたちです。その年に集まったメンバーでの運営のため、同じ名前のクラブであっても、取り組む内容や活動の進め方が変わることもあります。普段の授業よりも時間が長いため、じっくりと好きなことに向き合うこともできます。１学期は４回の活動がありました。好きなことや初めて挑戦することに笑顔で取り組む様子が見られました。

今年度のクラブ
校庭運動、バドミントン、室内遊び、音楽、パソコン、室内運動、まんが、理科、手芸工作、ダンス